

呉自社商品開発推進研究会

## 新規事業開拓グループ

発表者：  
株式会社 中国化薬(株)  
部長 永易 伸生

H26. 5. 21

## グループの目的

技術分野，業種を問わず，自社及びグループ会員共通の短期・中期的で実現可能な事業化テーマについて，必要に応じてビジネスプランを作成して，グループ会員の新規事業創出や実践グループの創出を図る。

# 平成25年度活動実績(1)

## 新規事業開拓グループ

作成  
2014/4/26  
永易

行事	主な課題	日程	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
NO. 1G会議	前年度のまとめ	4/11	↔	E L I ランプの説明会 H 2 4 年度活動報告(案)の説明													
NO. 2G会議	方針	5/9		↔	H 2 5 年度活動計画検討												
総会		5/21			↔	H 2 4 年度活動報告、H 2 5 年度方針発表											
NO. 3G会議	会員コースの抽出	6/14			↔	①「温か手袋」企画の紹介 ②先進地訪問について											
NO. 4G会議	会員コースの抽出	7/11				↔	①胎毛筆箱用桐材の省エネ型調湿システム」の紹介										
NO. 5G会議	情報収集	8/9					↔	①広島ガス(阿賀)太陽光発電施設について ②先進地訪問日程について									
先進地訪問	情報収集	8/28~ 8/29					↔	①オガワエコス ②福山市：ごみ固形燃料工場、リサイクル発電所、汚泥再生処理セミナー ③中国電力福山太陽光発電所(メガソーラー) ④エフビコ									
NO. 6G会議	情報収集	9/12						↔	①くるま座交流会「トイレット」発表内容について ②先進地訪問報告								
NO. 7G会議	会員コースの抽出	10/17							↔	①焦げ付きにくいフライパンの開発 ②エアコン吹出口用ファンについて							
NO. 8G会議	会員コースの抽出	11/7								↔	①外来害虫、ガス対策について ②水面の油膜取り霧状システムについて						
先進地訪問	情報収集	11/28									↔	デイスコ桑畑工場見学					
NO. 9G会議	情報収集	12/13										↔	①デイスコ桑畑工場見学回顧				
NO. 10G会議	会員コースの抽出	1/16											↔	①エアコン吹出口用ファンについて ②犬・猫用忌避剤調査報告			
NO. 11G会議	会員コースの抽出	2/13												↔	①竹破碎機の検討 ②エアコン吹出口用ファンについて		
NO. 12G会議	会員コースの抽出	3/13													↔	①桐材灰汁抜き省エネシステム ②エアコン吹出口用ファンについて	

## 活動実績(2)

### 1. 先進企業訪問1の実施

- ・参加者 17名
- ・実施日:8月28~29日
- ・訪問先企業

#### (1) 株式会社オガワエコノス

RPF製造等、一般・産業廃棄物の収集運搬および中間処理・再生の見学

#### (2) 福山市ごみ固形燃料工場

家庭および事業所から排出された可燃ごみを破碎・乾燥・選別・圧縮成形しペレット状のRDFを製造する。

#### (3) 福山市リサイクル発電所

RDFを効率的に発電所で燃焼し、同時に高度排煙処理により廃ガスのクリーン化を図り、「RDF利用発電」を行う。

#### (4) 福山市汚泥再生処理センター

生活排水処理施設汚泥を処理することによる循環型社会の推進、脱水汚泥は助燃剤として焼却施設で利用する。

(5)中国電力株式会社福山太陽光発電所(メガソーラ)

地球温暖化等の環境問題への取り組みの一環として、中電初のメガソーラ  
発電所、出力 3,000KW



(6)株式会社エフピコ

一度使用されたトレーを回収し、「エコトレー」として生産する。食品トレー、弁当・  
総菜容器の最大手

## 2. 先進企業訪問2の実施

- ・参加者 20名
- ・実施日:11月 7日
- ・訪問先企業
  - (1)ディスコ桑畑工場
- ・緊急時に備えた対応力の向上、製造現場の集約による効率向上のために精密加工装置および内製部品の製造を行う免震構造を採用した工場
- ・電気の自給(太陽光)
- ・各廃棄物を明確に仕分けし、再利用と売却の実施
- ・建物中央を吹き抜けとし、雨水を貯め再利用



# 「省エネ型給湯設備」の実用化

桐箱用桐材の灰汁抜き:従来 温水 約60℃加熱に電気ヒータ利用



参加企業:株式会社 光文堂

佐藤技術サポート、KCオフィス

補助事業:(公財)くれ産業振興センター

H24年度地域産業活性化支援補助事業

# 従来技術の問題点

桐箱用桐材の灰汁抜き: 従来 温水 約60℃加熱に電気ヒータ利用

- 簡易的な設備のため温度管理不十分。
- 断熱効果が無いため温度低下が早い。
- 電熱消費量が多い。高い電気代。
- 定期的な温水の入れ替えで人手が掛かる。





# 省エネシステムの構築

- 太陽熱温水器とエコキュートを複合化した給湯方式
- 温度低下防止のため自動給湯方式
- 灰汁管理のため(濁度計)を開発し装備する
- 断熱効果を考慮した調質槽の開発
- 地下水利用(節水)

調質槽



太陽熱温水器



エコ給湯



# 新省エネシステムの効果

■太陽熱温水器とエコキュートを複合化給湯した新システム

→ 参画企業の環境配慮型新商品に  
環境マインドの向上

■節電 80%以上

■節水

→ 企業経営上、経費節減

電気料金、水道料金

生産性向上

(温度管理、灰汁抜き等)

■産学官連携

産:参画企業2社、学:広島県立総合技術研究所

官:(公財)くれ産業振興センター

## 平成25年度 まとめ

平成25年度は、“困ったニーズ”を中心に意見をだしてもらったところ  
いろいろな悩み、アイデアが出された。しかし、ここからが難しく、“新  
規事業のテーマの創出”へとは結びつかない現実には直面した。意気込  
み、ノウハウ、共通認識がないと、先に進捗しない。

グループの継続発展のためには、ニーズとシーズの組み合わせを工夫  
して活動していくことが必要条件と思われる。

今後、本試みを上手に生かして、有望なテーマを是非誕生させたい。

## 平成26年度 活動目標

前年度の方向性を継承するとともに、シーズの精査を徹底し、  
時代のニーズにかなう新規事業化テーマの創出を目指す。

